

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	耐震設計における地震荷重検討小委員会		主 査 名：高田毅士 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 荷重運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：河井宏允
設 置 期 間	2011 年 4 月～2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	一般構造物を対象にした地震荷重の設定において、より合理的な地震荷重(設計用地震動)の枠組みを構築するために、特に、用途係数(重要度係数)の検討、地震動予測地区の活用、設計用地震動設定の方法、建築・土木共通の地震荷重の枠組みの在り方などの検討を行ない、2014 年の荷重指針改定を行う。 2011 年度は荷重指針改定に向けて、活動計画を立案し、組織作りを行う。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：高田毅士(東京大学) 幹事：石井透(清水建設)、田村良一(篠塚研) 委員：井上超(間組)、石山祐二(元北海道大)、曾田五月也(早大)、中村博一(フォーラムエイト)、藤堂正喜(戸田建設)、福島誠一郎(東電設計)、糸井達哉(東京大学)、松島信一(京都大学)、田中浩平(東京大学)、林康裕(京都大学)、恒川裕史(竹中工務店)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 活動計画を立案し、地震ハザードマップの活用、設計用地震動策定方法検討、指針改訂の 3 つの作業グループを作成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員の高齢化